

まつしま

# 議会だより

第160号

令和6年11月1日発行  
宮城県松島町議会



バーベキューで国際交流（松島町国際交流協会）

- ◇ 令和5年度決算概要…………… P 2
- ◇ 各課に問う 決算審査特別委員会…………… P 6
- ◇ 議案審議…………… P13
- ◇ 7人の議員が熱弁（一般質問）…………… P18
- ◇ 町民インタビュー…………… P28

令和6年  
第3回定例会

[9月4日～9月19日]

## 一般会計歳入歳出決算額

歳入決算額 (万円未満は切り捨て)			歳出決算額 (万円未満は切り捨て)		
款	収入済額	割合	款	支出済額	割合
町税	18億2,015万円	25.03%	民生費	23億3,957万円	33.38%
繰入金	5億4,085万円	7.44%	総務費	13億1,514万円	18.77%
繰越金	1億8,287万円	2.51%	災害復旧費	1億3,471万円	1.92%
諸収入	1億9,072万円	2.62%	土木費	8億481万円	11.48%
財産収入・寄附金	8,138万円	1.12%	公債費	5億3,047万円	7.57%
使用料及び手数料	8,309万円	1.14%	教育費	5億5,291万円	7.89%
分担金及び負担金	1,032万円	0.14%	衛生費	4億9,746万円	7.10%
地方交付税	21億4,099万円	29.44%	消防費	2億7,696万円	3.95%
国庫支出金	8億7,539万円	12.04%	商工費	1億8,214万円	2.60%
県支出金	3億9,355万円	5.41%	農林水産業費	2億1,007万円	3.00%
町債	4億8,755万円	6.70%	議会費・労働費	1億6,380万円	2.34%
地方譲与税等	4億6,589万円	6.41%	合計	70億810万円	100.00%
合計	72億7,281万円	100.00%			

決算

### 各特別会計歳入歳出決算額 (万円未満は切り捨て)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	16億7,591万円	16億7,300万円
後期高齢者医療	2億2,869万円	2億2,686万円
介護保険	20億4,701万円	19億6,928万円
介護サービス事業	993万円	993万円
観瀾亭等	1億3,727万円	1億2,203万円
松島区外区有財産	126万円	126万円

### 水道事業会計収支決算額 (万円未満は切り捨て)

区分	収入	支出
収益的収支	5億9,944万円	5億4,514万円
資本的収支	294万円	5億89万円

※水道事業会計の資本的収支に不足する額4億9,795万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんされました。

### 下水道事業会計収支決算額 (万円未満は切り捨て)

区分	収入	支出
収益的収支	10億2,399万円	9億8,092万円
資本的収支	3億1,026万円	4億3,770万円

※下水道事業会計の資本的収支に不足する額1億2,743万円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんされました。

#### 一般会計歳入歳出決算

決算収支は「黒字」になり、2億6,470万円(余剰金)は、令和5年度繰越事業5,487万円と財政調整基金の積立1億5,000万円に使われ、残りは令和6年度一般会計予算へ繰り越されます。

#### 特別会計・水道事業会計・下水道事業会計歳入歳出決算

各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算収支も一般会計と同様に「黒字」になりました。特別会計は、国民健康保険特別会計など6会計があります。決算収支は、6会計の合計で2億9,770万円(余剰金)となりました。

水道事業会計の資本的収支に不足する額は過年度分損益勘定留保資金等で、下水道事業会計の資本的収支に不足する額は当年度分損益勘定留保資金等で補てんがされていますが、どちらも財政比率分析においては、おおむね安定した経営となっています。



高橋 幸彦  
議員

**まち・ひと・しごと創生推進寄附金(企業版ふるさと納税)**

**問** 監査委員の指摘のように、まち・ひと・しごと創生推進寄附金は予算額1億5,000万円に対して、決算額が1,340万円だった。最終的な目標額は3年間で11億円である。達成できるのか。

**町長** 松島イノベーション・ヒルズ事業を考えて、担当課だけでなく、私を筆頭にして職員は営業活動を進めているが、やはり営業力が足りなかった。企業の人事異動等もあり、なかなか思うように集まらなかったが、今後とも会社訪問を続けていく。

## 人口減少対策

**問** 人口減少が止まらない。地域おこし協力隊などの活用が必要ではないか。

**町長** これまでも観光協会、漁協、商工会等の経済団体に協力をお願いしてきたが、マッチングが難しく実現していない。今後は特に一次産業

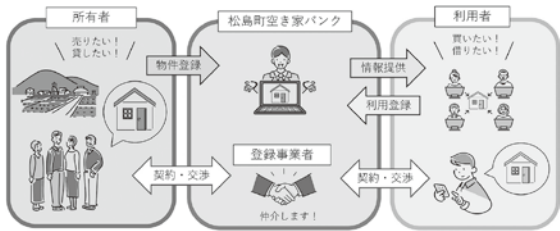
の後継者が、どんどん少なくなるので、生産組織をつくれるよう、町として努力する必要があると考えている。

## 空き家対策

**問** 磯崎地区は世帯数が増えているが、空き家も増えている。町全体としても増えていると思うが、対策は。

**町長** 不動産関係の2社と協定を結んだ。空き家対策に予算を充てていきたい。高城、磯崎、本郷、松島地区を含めて、大きな空き地がある。その有効活用は、できれば家屋となり、人口が増えるよう進めていく。

その他、次の質問をした。  
・関係人口が増えるような施策について



空き家バンク図解



菅野 隆二  
議員

## 長期総合計画について

**問** 今回の決算を受けて令和8年度からの長期総合計画に組み込むことや方向転換する部分はあるのか。

**町長** 次の長期総合計画については検討を始めたばかりである。これから何が根拠で何をどうするということもをしっかりと示せるように案を練っていききたい。

## ふるさと納税について

**問** ふるさと納税額が5,900万円の実績だったことに対して、町としてどのように受け止めているのか。

**町長** 少な過ぎると感じている。もう少し知恵を絞って金額を倍ぐらいにしていかないとまずいだろう。私自身も力を入れて取り組んでいく。

**問** 企業版ふるさと納税の寄附実績が目標に対して10%にも満たない状況と昨年から大幅減だったことに対しての所感。

**町長** 結果を謙虚に受け止め、反省をしている。今後はしっかりと企業回りなどをしながらやっていきたい

考えている。

## ハラスメントについて

**問** 松島町役場でカスタマーハラスメントの事例は。

**総務課長** たくさんの方が窓口に来られるので、ちよつと威圧的な言動の方もいるかもしれないが、直接報告は受けていない。

**問** 庁舎内でパワハラやセクハラの問題は発生していないか。

**総務課長** ハラスメントに発展する危険性がある事例の報告は受けていない。そうならないように昨年度から研修を実施している。



## タウンミーティングについて

**問** 施政方針の中で多様で幅広い世代の意見を町政に反映させるために開催するとあったタウンミーティングの開催実績は。

**企画調整課長** 町の広報やホームページで周知は行ったが、申し込み自体、無かったので開催していない。

その他、次の質問をした。  
・決算額の減少について  
・自治体情報システムの移行について  
・食材高騰の中での給食の栄養確保について



赤間 幸夫  
議員

財政運営について

**問** 令和5年度決算の概要から、町長としての思いの程は。

**町長** この3〜5年度の間には、コロナ感染症対応や災害対応があり、国・県の支援の基に観光や医療、災害対策を講じてきた。結果として、財政調整基金を微減に抑えられ、職員の努力により乗り切れたものと考えている。

**問** 新年度予算編成にあたり政策実現のためには、できるところから手を付けていくべきでは。公共施設財産等の統廃合と維持管理経費見直し、厳しい財政運営を背景に財政計画が必要ではないか。

**副町長** 財政計画は必要だとは思いますが、年度で色々な災害や経済変動が出て思い通りに事が進まず、絵にかいた餅になる可能性がある。本町においては、3年毎にローリングする実施計画に基づく数値が現実的であり、5年ないし10年の財政計画は、数値的に示せても現実的ではないと

判断している。

防災について

**問** 防災上の活動拠点たる庁舎敷地の確保についての考えは。

**町長** 県の浸水区域指定範囲に入っているが、町は庁舎建設に際してかさ上げをしており、町のハザードマップにも反映している。地主企業は今のところ土地を売る考えがないので、町は情報交換という形でコミュニケーションを図っている。

介護保険について

**問** 介護保険利用者の傾向と、限りある財源の推移をどのように見ているか。

**健康長寿課長** 松島町の特徴として給付費の伸びは、コロナ禍の中で利用控えもあつたが、85歳以上の年齢が若干増える予定であり、介護給付費も伸びると予測している。また、65歳以上の年齢等全体としては、少しずつ減っていくものと見ている。

下水道会計について

**問** 公共下水道の供用開始区域内で浄化槽タイプの便槽等を利用している方々の改善状況は。

**水道事業所長** 区域内での浄化槽の使用は、物理的に公共下水道整備ができない場合に町からの補助により整備をしている状況にある。



今野 章  
議員

根廻・初原線の今後の見通しは

**問** 監査委員の報告で「目標達成が不安視」される企業版ふるさと納税は、5年前に税額控除割合の引上げと手続の簡素化がされ企業にはお得感がある。今年度で期間終了となるが目標の11億円達成へ重要な今年度の取り組みは。

**企画調整課次長** 企業版ふるさと納税は、七十七銀行で開催しているマッチングフェア参加や企業立地セミナー、企業誘致などで縁のあつた企業に納税のお願いやPRを引き続き行っていく。

また、昨年度から町のPRや寄附をしたい企業を紹介するマッチングの委託も始めており、今年度も力を入れてPRしていきたい。

**問** 根廻・初原線は、当初事業費11億3,600万円の計画だが、物価高騰や松島大郷インターチェンジの改修など影響を受ける。今後の見通しは。

**建設課長** 事業費は現在、根廻側9億3,000万、初原側4億7,000

土地開発基金は廃止を

**問** 土地開発基金は議会の目が届きにくく、土地取得特別会計にするか廃止して基金の活用を図るべきではないか。

**副町長** 特別会計にすると議会の同意が必要となる。急遽、何かが起きたときなど土地開発基金は必要と考える。しかし、基金残高2億2,700万円が妥当かの検討はしている。

**問** 狭隘道路を整備する場合、セツトバックし道路幅員4メートルを確保しなければならぬが、セツトバックした土地が民有地なのか公有地かなど所有関係の問題が残っている土地がある。本町での取り扱いはどうなっているのか。

**副町長** 決算年度の狭隘道路整備事業箇所については、土地を寄附いただき登記している。過去には移転登記や寄附行為がされていないものもあるが、道路敷になつているものには税が控除されている。



米川 修司 議員

### 健全化判断比率について

**問** 実質公債費比率及び将来負担比率は類似団体の平均を下回るが、これは地方債の発行状況に関して、本来許容されるべき規模と比べて起債金額が少ないことを意味するのでは。

**副町長** 本町は公債費を含めた経常収支比率が高止まりしているため、起債する際には全体的な収支比率を見ながら発行金額を見定めている。

**問** 持続可能で健全な財政運営を実現すべく、中長期の財政運営計画を策定すべきなのは。

**町長** 一部事務組合へ委託している尿及びごみ処理等の負担割合から、人口減少に伴う税収減、観光収入の伸び悩み、一次産業の後継者不足、予測できない自然災害に至るまで、様々な問題を年表に落とし込みながら、起債を含めて収入と支出をよく考えながら毎年度の予算を立てている。



櫻井 靖 議員

### 企業版ふるさと納税について

**問** 企業版ふるさと納税について、令和5年の当初予算で1億5,000万円の目標額が1,340万円の歳入にとどまった。目標額に大幅に届かなかった場合、考えていた事業がなくなることになるのではないかと。今後の松島町の進む方向性に不安を感じるがどうか。

**副町長** 企業版ふるさと納税を一部財源として見込んで事業を着手したが、国費や起債もあり100%の財源ではない。プラス要因として考えていた。

**問** これからの自治体はしっかりとした営業力が必要になると感じている。職員に民間のような慣れない営業は難しいのでは。

**町長** 県内の自治体は首長が全てトップセールスしており、まちづくりを考えての営業を全てやっている。首長が姿勢を示して目的に向かってワゴンチームで取り組んでいく。



桜井ていこ 議員

### 松島に道の駅は

**問** 近隣の町で、新しい道の駅が町の賑わいを呼び起こす取り組みとして計画されている。

石田沢防災センターに年間700万円の維持をかけているが、道の駅として活用する計画はないのか。

**副町長** 道の駅にするには、国の規制がありハードルが高い。今後、有効利用について国との調整を念頭に取り組む。

### 観瀾亭の保全計画は

**問** 観瀾亭は重要な観光資源である。維持管理の保全計画は。また、畳替えはいつ行ったのか。

**産業観光課長** 保全計画はない。畳替えは9年前に一度行っている。

**町長** 重要な建物は維持管理をしなければならぬ。畳替え、雨戸の修繕等もこれから考え、計画まではいかないが、アウトラインを考えていく。



維持管理状況の確認



完成したトイレの確認

**決算審査特別委員会  
現地視察**

9月10日に現地調査を行いました。左記の現地のほか、新富山、法面崩落防止工事実施箇所、左坂配水池の確認をしました。

企画調整

**問** 2,700部発行した「定住・移住促進ガイドブック」の配布状況は。  
**企画調整課次長** 移住関連イベントでの配布はもちろん、東京のみやぎ移住サポートセンターや移住・交流情報センターなどに設置している。他にも仙台空港やコンビニなど町外の方の目に触れそうな場所へ設置している。現段階で700部が捌けている。



リフォーム助成事業の継続は

**問** タウンミーティングが開催に至らなかったことについて、周知方法に問題があったのではないか。  
**企画調整課次長** お知らせする方法については以前と変わっていないが、今年度は2回開催しており、問い合わせも増えていることからようやく浸透してきたと捉えている。

**問** 町内業者育成にも繋がる「暮らしを応援・住まいのリフォーム助成事業」を町単独としても今後も継続するべきではないか。  
**副町長** この事業はマイナスイ要因がほとんどないと考えている。しかし、継続していくには財源確保が必要であり、いろいろと努力していかなければならない。

**問** 統計調査員の総数や男女の比率が変わっていない。平均年齢の状況も含めて人員確保について問題はないのか。  
**企画調整課次長** 確かに平均年齢が上がってきている状況は全体としてあるが、ここ数年で40歳代の方の加入や昨年だけでも紹介で3名の加入など、人員確保については特に問題はない。

総務・環境防災

**問** 職員の時間外労働の状況は。  
**総務管理班長** 1人当たりの時間外労働は年間で平均84時間、月当たりだと7時間となっている。時間外労働が月45時間を超えた職員は7名だった。

**問** 過去の文書の保存も含めて文書管理のデジタル化は進んでいるのか。  
**総務管理班長** 過去の文書をデジタル化するにはかなりの費用が発生する。その部分を解決すれば進んでいくと考えている。

**問** 行政区長や行政員の成り手不足に対しての町の認識は。  
**総務管理班長** 成り手不足について役員改選の時に相談されることはあるが、区長や地区の方の協力もあり、不足になっているところはないという認識である。

文書管理のデジタル化は



**問** 町営バスが前年から収入額および利用者が減っていることをどのように分析しているのか。  
**環境防災班長** 中学生は1人減っただけで通学利用250日の往復で500人分の利用者が減ることになる。中高生の数の変化が大きく影響したと分析している。



### 鳥獣による農作物被害の効果的な対策を

**問** 現在の鳥獣被害の状況と対策は。

**産業振興班長** 鳥獣被害は最近増加しており、令和5年度からはイノシシ、鹿など大型の獣類が多くなっている。本町でも鳥獣が嫌う匂い、色を使った対策を行っており、今後も農家の方々と連携しながら研究を進めていく。

**問** 遊休農地への太陽光パネル設置の申請状況は。また、申請済で未設置の場所はあるか。

**専門官** 昨年度、農業委員会に11件の申請があった。ほぼ設置されているが、未設置の場所については、遅延している状況の報告書を提出していただき確認している。

**問** 観光振興計画の実現に向けて新たな施策、アイデアは。

**観光班長** 環境問題、歴史文化につながる事業、体験型コンテンツなどお客さんのニーズとして消費されるものを考えていきたい。また現在、観光エリアだけではなく高城・磯崎地区を紹介できる取り組みを準備している。

**問** 現在加盟している「世界で最も美しい湾クラブ」の今後の在り方、活用方法は。

**観光班長** インバウンドを誘致する中で、世界の方々に認識がある湾クラブをPRの素材としている。また、日本国内の加盟湾同士で連携し事業を展開している。

### デジタルサイネージの活用状況は

**問** 同規模自治体よりも住民1人当たりの行政コストがかかっている要因は。

**財政班長** 使用料収入が少なかったため、設備維持管理費の投資にかかる金額が高いう結果である。また、繰出金についても下水道汚水にかかる資本費平準化債の発行も少なかった要素も兼ね合い、一般会計の持ち出しが多くなっている。

**問** 寄附金窓口拡充で寄附金は増加したが、件数は減少している。新たな返礼品の開発は。

**財政班長** 高額返礼品は多かったが物品返礼品は少なかった。新たな返礼品の開発として、町の特産品と県で推奨する地域資源を組み合わせて売るような形で、返礼品カテゴリーを増やして行きたいと思っている。

**問** 役場玄関にあるデジタルサイネージの活用状況は。

**財政班長** 1階の玄関左手に行事予定表として書かれていたものをデジタルサイネージとして統合して、活用している状況にはなっているが、来庁者の方が見づらいという指摘があるので、その辺を踏まえ勉強しながら改善していきたい。



役場玄関にあるデジタルサイネージ

**問** 役場に電話をするとガイダンスが流れるようになった。機種交換の経緯は。

**財政班長** 町に対する不当利得対策や苦情があった時など、ガイダンスが流れることよって冷静さを取り戻していただける時間として、期待をしながら導入した経緯もあるので、ご理解をいただきたい。

健康長寿



思春期保健指導の取り組みは

**問** 思春期保健指導教室の開催は、ここ数年第五小学校のみとなっている。他の学校での計画は。

**健康づくり班長** 町内の小中学校に事業のお知らせをし、依頼があった第五小学校で実施している。

**健康長寿課長** お子さん方の健康に関する問題は、時代とともに変わっていく。その都度養護の先生・教育委員会と協議して講座の申し入れをしている。

**問** 新型コロナウイルスの接種の状況で、未接種の感染者数はわかるのか。

**健康長寿課長** 最終的に確認しているのは、令和4年6月2日時点で累計957人が感染している。接種したかについては照らし合わせできない状況である。

**問** 敬老祝い記念品について毎年選定に苦労していると聞いている。記念品を廃止して、高齢者への新しい事業を考えてはどうか。

**健康長寿課長** 記念品について毎年検討しているが、予算に限りもあり、苦慮している。意見を参考にさらに検討する。

町民福祉

国民健康保険から後期高齢者医療保険の切り替えに注意

**問** 後期高齢者医療保険料の管理ができない被保険者が増えている理由は。

**町民サービス班長** 国民健康保険は世帯主課税であるため、自分が被保険者であっても世帯主の通帳から引かれているが、後期高齢に移ると自らの通帳から引かれるようになる。自ら手続きをしないといけないので、納付の仕方の違いに対応できないことがある。

**問** 診察する場合、マイナ保険証を使った時、幾らか安くなるのか。

**町民サービス班長** マイナ保険証を使っていたために従来の保険証で受診するよりも3割負担の方で初診料が20円、再診料が10円安くなる。

**問** 心身障害者医療費助成は、なぜ現物給付ではなく償還払いなのか。

**福祉班長** 現物給付にすることによって医療費が増えることによる国庫減額措置が発生するので、それを望まない自治体もあり、償還払いに統一されている。

**問** 保育所で年度途中に待機児童が発生している理由は。

**子ども支援班長** 保育士の人数が足りないからではなく、施設規模の関係で、0歳・1歳児のクラスで待機児童が発生した。





## 教 育



本町の学校給食の一例

**問** 小中学校の蛍光灯について、電気代の高騰をふまえて、今後のLED化の動きは。  
**学校教育班長** 蛍光灯だけでなく器具を丸ごと交換しないと省エネにならないため、壊れた個所から順にLED化を進める方向で検討していく。

**問** 小学校の給食費について、単価が280円で据え置かれているが栄養面は問題ないか。

**問** 運動公園の利用状況について、温水プールやスタジオの利用者数が減っている要因は。  
**生涯学習班長** 令和4年度にこの単価を設定した後も物価の高騰が続いているが、栄養教諭が工夫して食材費を抑えているのに加え、今年度は一般会計予算を充てて値上げを回避しつつ栄養バランスを崩さないよう努めている。

**問** 町史編さんの資料について、調査の進捗率が20%に止まっているが今後の見通しは。  
**町史編さん室長** 今年度に入ってから町史編さん委員会を立ち上げて専門家を招いたところ、通史編は予定通り令和9年度中に発行する一方で、資料編はテーマを細かく区切って毎年度発刊するのがよいといった意見をふまえ、来年度から順次公開していく方向で検討している。

## 建 設

**問** 大和松島線の公衆トイレの利用者の多くは町外の方々というのが実態だ。松島大郷IC改修にあわせて、宮城県に管理してもらってはどうか。  
**管理班長** 今の場所にトイレを設置した訳は、コンビニやトイレ休憩する場所がなく町でお願ひした経緯があるのでトイレを廃止することを宮城県と相談しながら、調整していきたいと考えている。

## 危険ブロック塀の撤去状況は

**問** 撤去されていない危険ブロック塀の件数は。  
**管理班長** 現在23件残っている。個人負担等があり、町で声かけをしているが思うように進んでいない状況だ。

**問** 融雪剤の箱の中に融雪剤が無い時が多い。その対応は。  
**管理班長** 融雪剤は、随時パトロールをして入れているが、町民の方が自分の近くの町道に撤くために使用するケースもある。雪が降りそうなときは、充足できる対応をしたい。



松島大郷IC付近の公衆トイレ

## 町史編さん事業の今後の見通しは

**問** 町史編さんの資料について、調査の進捗率が20%に止まっているが今後の見通しは。  
**町史編さん室長** 今年度に入ってから町史編さん委員会を立ち上げて専門家を招いたところ、通史編は予定通り令和9年度中に発行する一方で、資料編はテーマを細かく区切って毎年度発刊するのがよいといった意見をふまえ、来年度から順次公開していく方向で検討している。

# 監査委員決算審査報告

## 総括報告

令和5年度の一般会計、各特別会計歳入歳出決算、基金運用状況、水道事業会計決算、下水道事業会計決算、決算審査に基づき、概ね適正であると認める。

決算審査における会計別の主な意見等は、次のとおりである。



丹野和男代表監査委員（左） 後藤良郎議選監査委員（右）

## 一般会計

令和5年度は前年度に比べ、歳入で6億6,573万円、歳出で4億6,755万円、それぞれ大幅に減少している。当初から予定した事務事業は概ね完了している。前年から繰越した令和4年7月に発生した大雨災害の農地・農業用施設・公共土木施設の災害復旧事業については、全て完了している。

追加となった新型コロナウイルスウイルス感染症対応地方創生事業、物価高騰対応重点支援地方創生事業などにも適切に対応し、経常的事務が滞ることなく関係機関と連携し、迅速に住民サービスに努めている。  
今後とも町は、「活力あるまち・松島」の実現を目指し、なお一層住民に寄り添った行政サービスを望む。

## 国民健康保険特別会計

当年度末の国保加入状況は、前年度に比べ減少となった。データヘルス計画に基づく保健事業に引き続き取り組み、保険者として被保険者の健康意識を高めるとともに、医療費の適正化に努め、保険基盤制度運営の安定を図りたい。

## 後期高齢者医療特別会計

前年度比で加入者数は増加した。近年の被保険者数の増加傾向から、制度を運営する広域連合と連携し、安定した運営に努められたい。

## 介護保険特別会計

当年度末の要介護等認定者実人数は前年度比で増加した。介護職の減少と超高齢化の中、地域包括ケアシステムの取り組みを強化し、介護保険基盤の安定に努められたい。

## 観瀾亭等特別会計

来客数は、前年度比で増加している。新型コロナウイルスの影響で減少した観光客数が回復傾向にある。安全で安心な観光地の確保と多様化する顧客ニーズや地元資源の活用を、商工会や観光協会等と連携して情報発信に努められたい。

## 松島区外区有財産特別会計

本会計は、業務改善の一環として町が積極的に関係区と調整したことから、廃止となった。

## 水道事業会計

概ね安定した経営となっている。令和5年度は概ね計画どおり左坂配水池を完成させる一方、老朽施設更新のための工事や実施設計業務委託等を実施しているが、今後は、施設の老朽化に伴う更新需要が継続するとともに、急速な人口減少による水需要の減少から料金収入

の減収等、経営環境はさらに厳しさを増していくことが予想される。

今後とも安心で安定した水の供給に努めると共に、独立採算を可能とする経営環境を整えるべく、中長期的視点を持って計画されることを望む。

## 下水道事業会計

本会計は、令和5年4月1日より公営企業会計へ移行した。

近年、有収水量が増加傾向にある。経営効率化及び経営基盤の強化を図り、災害に強いまちづく

り及び水質環境等の向上に努めると共に、下水道使用料により賄うべき汚水処理事業については、独立採算を可能とする経営環境を整えるべく、中長期的視点を持って計画されることを望む。

## 財政健全化判断比率及び資金不足比率

令和5年度決算における各指標の比率は、早期健全化基準及び経営健全化基準を下回り、基準内は、左表のとおり。

### 町の財政状況は基準内です

財政健全化判断比率（普通会計）		
指標の名称	松島町の健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	15.00
連続実質赤字比率	-	20.00
実質公債費率	7.5	25.00
将来負担比率	-	350.00

資金不足比率（公営企業会計）		
会計の名称	松島町の資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.00
下水道事業会計	-	20.00
観瀾亭等特別会計	-	20.00

※財政健全化判断比率、資金不足比率の「-」と表示されている各比率は基準以下であることを示します。

## 一般会計

### 反対

今野 章  
議員

個人情報「保護」から「活用」へと大転換され、本人同意もなく第三者への情報提供が可能に。マイナンバーカードは、預金口座や免許証など利用範囲の拡大が進む。デジタル技術や情報の漏洩など対策が不十分。マイナ保険証は混乱も懸念される。住まいのリフォーム助成制度は、町民、町内事業者からも歓迎された。町単独事業として継続すべき。障害者医療費助成制度の償還払い制をやめ、窓口無料化、現物給付の実現を。保育所待機児童が発生したが、保育に欠ける子を一人も出さない姿勢で施設の拡張も検討すべき。インボイスは小規模個人事業主を多く抱えるシルバー人材センターでは大きな問題。センター運営は厳しく補助金引上げへ再考を。町営住宅入居者の平均年齢は68・2歳。連帯保証人の廃止を。農漁業など長期的な展望に立つた支援強化を。

### 賛成

菅野 隆二  
議員

令和5年度一般会計の決算額の収支は黒字だった。しかし、前年から町税が減収となるなど、今後も含めて大変厳しい財政状況であった。その中で光熱水費や物価高騰で影響を受けた町民への支援事業をはじめ、諸課題に優先順位を定めながら効果的な住民サービスに努められていた。今後は本格的な人口減少社会の到来や高齢化率の向上により取り巻く環境が一層厳しさを増すことが予想されている。この松島をより良い町にしたという想いは執行部も議会も町民もみな同じである。ただ、その同じ目標への考える道筋は人それぞれ。だからこそ、町としてどういう考えでその道筋を進むのかを明確に説明することが重要となる。町民との対話を大切にしながら、ニーズを的確に捉え、諸課題の解決に取り組むことを信じて賛成とする。

## 後期高齢者医療特別会計

### 反対

今野 章  
議員

後期高齢者医療では、一昨年10月から年収200万円以上は医療費の窓口負担が2割負担に。また保険料は、同年4月から被保険者平均で年額7,920円の負担増に。高齢者は保険料負担も医療費負担も増えるばかりだ。さらに法改正で「後期高齢者の保険料」と「現役世代の支援金」の伸び率が同じとなる制度改正や「出産育児一時金」の費用の一部も後期高齢者の保険料負担とすることに。今後も負担は増えるばかり。高齢者の生活の中心となる年金は、物価上昇でも給付は抑制される仕組みで、物価高騰に追い付いていない。負担増は受診抑制につながる。高齢になれば病気になるのは当たり前で、複数の病気を抱え、医療費も多くなる。本来、高齢になったら医療費などの負担は軽くするという考え方が必要であり、元の老人保健制度に戻すことを求める。

### 賛成

米川 修司  
議員

団塊の世代が75歳以上となり始め医療費の増大が見込まれること、後期高齢者の医療費のうち窓口負担を除いて約4割は現役世代の負担となっており、今後も拡大していく見込みを背景に、前年度に窓口負担割合が一部見直され、当年度においても窓口負担割合が据え置かれたのはやむを得ないと理解している。

これからも町と医療機関が共通認識で生活習慣病重症化予防に取り組むための連携を図っていくこと、引き続き後期高齢者の生活実態を適時に把握し被保険者の家計が急変することのないよう注視すること、今後も被保険者数が増加する見込みであることから、制度を運営する広域連合と介護保険事業と連携しながらその運営に努めること、以上を町へ要望しつつ今回の決算に関する賛成の討論とする。

# 議会は進言する

## 町への意見・要望

### 〔総務課所管〕

#### ○文書管理のデジタル化について

現在、本町では文書管理をすべて紙で行っている。過去の文書をデジタル化するには費用負担が大きいため早急に進めることは難しい。

しかし、今後の文書保存はデジタル化することで将来の負担がなくなる。

DX推進の観点からも過去の文書管理を含めデジタル化すべきである。

#### ○町営バスの運行について

中高生の足として町営バスの役割は大きい。帰宅時間に即したバスの運行がないため、保護者が送迎をしているのが現状である。実状にあった時刻表になるよう改善すべきである。

### 〔企画調整課所管〕

#### ○住まいのリフォーム助成事業の継続について

「暮らしを応援・住まいのリフォーム助成事業」は申込件数が大変多い事業であり、町内の経済効果も大きかった。

このような事業を望む声は今でも多い。町内業者育成の観点から、町単独の予算をつけてでも町民のために住まいのリフォーム助成事業を継続すべきである。

### 〔財務課所管〕

#### ○ふるさと納税の返礼品の充実について

令和5年度は、前年に比べ金額は増加したものの件数が減少している。

寄附者のニーズを分析し、松島の特性や魅力を最大限に活かした返礼品の開発に努力されることを望む。

### 〔健康長寿課所管〕

#### ○避難行動の個別計画の整備について

要介護者及び障がい等をもつ方々が自然災害などの緊急事態が発生した際に、命を守るため速やかに避難できるように、早急に個別計画の整備を進めるべきである。

### 〔産業観光課所管〕

#### ○鳥獣被害対策について

近年、鳥獣による農作物の被害が急激に増加している。町として自ら調査を行い、関係機関と連携しながら効果的な対策を速やかにとるべきである。

### 〔教育委員会所管〕

#### ○町史編さんについて

町史編さん事業は、町制施行100周年の記念事業である。編さん作業は多くの時間と労力を要する作業であるが、職員を中心に行うことは大変評価に値する。

協力体制を充実させ、よりよい町史が完成するよう尽力されることを望む。



令和5年度決算審査特別委員会  
小澤 陽子 委員長

# 審議案

## 松島町手数料条例等の一部改正

### 町税等の督促手数料は廃止へ

松島町個人番号の利用に関する条例の一部改正について

#### 質疑

**今野章議員** 特定個人情報提供できる機関や組織はどのような分野まで広がって、どのような組織へ情報を提供できるようになっていくのか。

**総務課長** 例えば全国健康保険協会に始まり、国の各省、都道府県、市町村といった団体であれば情報連携ができる。

**赤間幸夫議員** 条例改正後は町民に対してどのように周知するのか。

**総務課長** 文言整理による条例改正が主であり、町民へ周知するには馴染まないと思われる。

#### 討論

**反対討論** **今野章議員** 今回の改正は個人番号の利用に関する限定を取り払い、全ての行政分野で利用を推進しようとするものであり、プライバシー

シー侵害の危険性を更に高める。

**賛成討論** **菅野隆二議員** あくまで定義や規定の追加、文言の整理による改正であり、個人情報引き続き適正に管理され、情報連携により住民サービスが向上すると期待される。

**賛成多数・可決**

松島町手数料条例等の一部改正について

#### 質疑

**赤間幸夫議員** 督促手数料の廃止はどのように周知するのか。

**財務課長** 納税通知書の記載に加えて、督促状にも記載する。

**櫻井靖議員** 本町と同じ料金体系の市町においても、同様に手数料改定の動きがあるのか。

**企画調整課長** 今回の見直し対象である手数料は近隣市町においても対応中と把握している。

**今野章議員** コンビニ発行手数料は低料金に設定すべきでは。

**町民福祉課長** 窓口発行分が通常であり、コンビニ発行分を通常に戻すと理解している。

#### 討論

**反対討論** **菅野隆二議員** 督促手数料を廃止することは納期限内に納めない町民に合わせることに

なり、納付率を上げる取り組みとセットで議案を上程すべきである。

**賛成討論** **櫻井靖議員** 期限内納付が大前提であり、その上で督促手数料の不公平感が解消されると理解している。

**賛成多数・可決**

松島町国民健康保険条例等の一部改正について

#### 討論

**反対討論** **今野章議員** 現行の健康保険証を引き続き使用できればこのような改正は不要であり、

あらためて現行の保険証の存続を求める。

**賛成討論** **小澤陽子議員** 今回の改正により、マイン保険証に関する資格情報に関しては本町から各保険組合へ照会が可能となり、これは行政事務の効率化に資するものである。

**賛成多数・可決**

松島町地域包括支援センターの設置者が包括的支援事業を実施するために必要な基準に関する条例の一部改正について

#### 質疑

**桜井靖議員** 柔軟な職員の配置について、現行の基準を存続しつつ市町村の判断によって配置可能とあるが、サービスの低下や働く側の過重労働にならないか。

**健康長寿課長** 今回の人員配置基準を改正するにあたり十分に考慮されている。また、専門職の活

用など総合的に考え、質を担保したままできる中身となっている。

**赤間幸夫議員** 地域包括支援センター運営協議会の実態は。

**健康長寿課長** 松島町介護保険条例で定められ、地域包括支援センターを円滑、適正に運営するために地域住民の代表、医療機関の代表、介護サービス事業者の代表などを任命し参集いただいている。

**賛成全員・可決**

松島町下水道条例の一部改正について

#### 質疑

**菅野隆二議員** 事業者へ説明し納得していただけているのか。

**町長** 一昨年から時間をかけ各事業所へ説明し、ご理解を賜っていると理解している。

※このほかにも、今野章議員から質問がありました。

**賛成全員・可決**

# 補正予算

令和6年度松島町一般会計補正予算(第3号)

町税還付金

300万円

防犯カメラ設置工事

299万円

(都) 根廻・初原線道路整備工事

3,528万円

(都) 根廻・初原線道路整備事業水道移設補償金

1,971万円

町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事後調査業務委託料

658万円

町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事に伴う建物等補償金

900万円

## 質疑

町税還付金について

米川修司議員 法人町民税に係る還付300万円の補正ということを確認しているが、これに至った経緯はどんな事情があったのか。

財務課長 2社の法人税の更正の請求に伴う法人町民税の還付が影響している。1社は、令和2年度からの税割が全くゼロになるというような更正の請求の内容で、もう1社は、法人の従業員数の減に伴う号数の変更に伴い確定申告に伴う減と、合わせて370万円の還付が生じた。

不動産売払いについて

櫻井靖議員 旧磯崎保育所の跡地の売払いであるが、隣接地に三角形の民地がある。一緒に売却できないのか。

財務課長 あくまで民地であり、一緒に公売は少し難しい。町分の売払いの広告を町ホームページに掲載する際に、隣接地の地権者は売買の意思があり、本件土地の一体利用を考えている方には取り次ぐことができるという旨を掲載しようと思っ

赤間幸夫議員 売り払いに際し土地利用の在り方は。

財務課長 長期総合計画の重点戦略でもある定住や子育てに沿った土地の活用のために、戸建て専用住宅と位置づけ、売買をしていく方向に決めた。

町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事に伴う建物等保証金について

菅野隆二議員 委託料と補償賠償金の差が240万円の計上であるが、委託料は賠償金を見込んで高めに計上していたのか。

建設課長 委託料は入札で53%の落札率となり減額になった。補償費については、結果を基にして初めて分かった金額である。その結果増額変更をしている。

あらたに生じた土地の確認について

## 質疑

櫻井靖議員 今回新たに生じた土地の活用方法は。

建設課長 漁港という位置づけもあり、県をはじめ関係団体としっかり協議し、今後の方針について明確にさせる。

※このほかにも、小澤陽子議員、赤間幸夫議員から質問がありました。

賛成全員・可決

物品売買契約の締結について

【消防小型動力ポンプ付軽積載車】

## 質疑

赤間幸夫議員 旧車両の処分方法は。

危機管理監 今までと同様に、実績のある業者から見積を徴収し売却を考えている。

※このほかにも、阿部幸夫議員から質問がありました。

賛成全員・可決

工事請負契約の変更に

【松島町保健福祉センター大規模改修工事】

## 質疑

櫻井靖議員 町内業者育成の観点からも工事内容によつては、町内の業者にも入札に参加していただく考えはないか。

副町長 限られた工事期間の中で一体にやる方がスムーズに対応できると考えているが、今後は、外構工事など内容を整理、区分けして対応していく。

菅野隆二議員 追加工事の内容について、事前調査の中で判断できなかったのか。

健康長寿課長 令和4年度に策定した実行計画の指摘項目には含まれていなかった。また、追加工事については、利用者に迷惑が掛からない様にこのタイミングとなった。

賛成全員・可決

# 保育所・児童館・幼稚園に 防犯カメラ設置

防犯カメラ設置工事について

小澤陽子議員 児童福祉

施設及び幼稚園に設置する防犯カメラには、録画以外にどのような機能があるのか。

教育課長 一般的な防犯

用のカメラであり、アラームが鳴るような機能はついていない。記録だけでなく、もう1つディスプレイもついているので、不審者が現れたときはモニターで確認できる。

賛成全員・可決

### 人事案件

松島町

教育委員会委員…同意

《再任》

鈴木 康夫 氏  
(松島町高城)

《再任》

佐藤 晴子 氏  
(塩竈市藤倉)

令和6年

# 第2回臨時会

## 除草作業中の事故防止を望む

和解及び損害賠償の額決定について

### 質疑

赤間幸夫議員 自走式草

刈り機を使用した除草作業中の事故について、人員配置や対策はどのようなものだったのか。また再発防止策は。

建設課長 職員6名で作

業し、のり面を手作業と平面作業として自走式草刈り機を使用した。現場は、道路から2メートル高い場所に平面部がある場所で、機械で作業中、高い部分から飛び石がとんでしまった。今後使用については、機械の特性を踏まえ飛散防止ネットを設置して対応していきたい。

小澤陽子議員 自走式草刈り機を使用する場所は決まっているのか。

建設課長 自走式草刈り

機の使用条件を決めており、背丈が1.5メートル、2メートルに伸びた草を機械で粉碎し、集草の作業も必要としない。長期間放置された場所に使用している。

賛成全員・可決



自走式草刈り機

令和6年度松島町一般会計補正予算(第2号)

### 質疑

菅野隆二議員 国から示

された内容で試算した後に、提供された算定ツールで抽出した結果、不足額が生じたとのことであるが、これは防げなかったものなのか。また、国が示した内容に不備があったのなら、そのことを国に要望すべきでは。

財務課長 当町の税務シ

ステムにおいて、国から示された調整給付に係る所得情報に基づき試算をした。その結果、想定していた金額より不足が判明した。防ぐことは難しかった。宮黒町村会の税務研究会で今回の事象について県の税務研究会に意見を伝え、県の研究会から国に伝えていただく流れである。

賛成全員・可決

# 令和6年 第3回 定例会 提出議案 (9月議会)

**議員提案第1号 松島町議会会議規則の一部改正について**  
タブレット端末の導入に当たり、使用等について規定するための所要の改正

**議案第46号 松島町個人番号の利用に関する条例の一部改正について**  
法律の施行に伴う定義規定の追加及び文言の整理等

**議案第47号 松島町手数料条例等の一部改正について**  
各種証明書発行手数料等について県内自治体等の状況を踏まえての改正

**議案第48号 松島町国民健康保険条例等の一部改正について**  
現行の被保険者証が発行されなくなることに伴う所要の改正

**議案第49号 松島町地域包括支援センターの設置者が包括的支援事業を実施するために必要な基準に関する条例の一部改正について**  
現行の配置基準は存置しつつ、市町村の判断により地域の実情に応じて職員を配置することを可能とする改正

**議案第50号 地区計画内の建築物制限条例の一部改正について**  
新たに地区計画の決定をする初原地区において当該地区整備計画区域に設定する建築制限の内容を定めるもの

**議案第51号 松島町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について**  
布設工事監督者及び水道技術管理者の実務経験年数や学歴学科要件が見直されたことに伴う所要の改正

**議案第52号 松島町下水道条例の一部改正について**  
温泉汚水区分を廃止し、使用料を統一するための所要の改正

**議案第53号 あらたに生じた土地の確認について**  
宮城県による磯崎漁港修築工事の第2工区が竣工認可されたことに伴い、あらたに生じた土地の確認

**議案第54号 字の区域を変更することについて**  
あらたに生じた磯崎字磯島1番地に隣接する公有水面埋立地を磯崎字磯島に包含するもの

**議案第55号 物品売買契約の締結について**  
事業名 消防小型動力ポンプ付軽積載車購入  
契約金額 7,282,000円  
契約相手 株式会社 共栄防災

**議案第56号 工事請負契約の変更について**  
工事名 松島町保健福祉センター大規模改修工事  
変更後の金額 522,916,900円 (16,916,900円増)  
契約相手 株式会社 深松組

**議案第57号 令和6年度松島町一般会計補正予算(第3号)**  
児童福祉施設及び幼稚園防犯カメラ設置事業、(都)根廻・初原線道路整備事業等の補正

**議案第58号 令和6年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**  
令和5年度決算に伴う繰越金及び一般会計繰出金の補正

**議案第59号 令和6年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)**  
令和5年度決算に伴う繰越金及び一般会計繰出金の補正

**議案第60号 令和6年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)**  
令和5年度決算に伴う繰越金及び一般会計繰出金の補正

**議案第61号 令和6年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)**  
令和5年度決算に伴う繰越金の補正

**議案第62号 令和6年度松島町水道事業会計補正予算(第2号)**  
(都)根廻・初原線国道346号交差点改良工事に伴う配水管移設工事の工事請負費及び工事負担金の補正

**議案第72号～第73号 松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて**  
鈴木康夫氏、佐藤晴子氏の教育委員会委員への任命についての同意

## 令和5年度各種会計決算認定

**議案第63号 令和5年度松島町一般会計歳入歳出決算認定**

**議案第64号 令和5年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定**

**議案第65号 令和5年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定**

**議案第66号 令和5年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定**

**議案第67号 令和5年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定**

**議案第68号 令和5年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定**

**議案第69号 令和5年度松島町松島区外区有財産特別会計歳入歳出決算認定**

**議案第70号 令和5年度松島町水道事業会計決算認定**

**議案第71号 令和5年度松島町下水道事業会計決算認定**

**報告第6号 令和5年度松島町健全化判断比率について**

**報告第7号 令和5年度松島町資金不足比率について**

# 令和6年 第2回 臨時会 提出議案 (8月5日)

**議案第44号 和解及び損害賠償の額の決定について**  
除草作業の際に生じた飛び石による走行中の車両のフロントガラス損傷に対する和解及び損害賠償  
和解及び損害賠償額 142,626円

**議案第45号 令和6年度松島町一般会計補正予算(第2号)**  
令和6年度定額減税補足給付事業費の給付金の補正



# 議 案 採 決 結 果 表

表の見方 ①採決結果：賛成全員(可決または採択)→全 賛成多数(可決または採択)→多 賛成少数(否決または不採択)→否  
 ②各議員の表決：賛成→○ 反対→× ③その他：欠席→欠 退席(除斥を含む)→退 議長→議

## 令和6年第3回定例会

議案番号	議 案 名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対	
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
議案第72号	松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月4日	同 意															議		
議案第73号	松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同 意															議		
議員提案第1号	松島町議会会議規則の一部改正について	9月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第46号	松島町個人番号の利用に関する条例の一部改正について		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第47号	松島町手数料条例等の一部改正について		多	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	12	1
議案第48号	松島町国民健康保険条例等の一部改正について		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第49号	松島町地域包括支援センターの設置者が包括的支援事業を実施するために必要な基準に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第50号	地区計画内の建築物制限条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第51号	松島町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第52号	松島町下水道条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第53号	あらたに生じた土地の確認について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第54号	字の区域を変更することについて		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第55号	物品売買契約の締結について 【消防小型動力ポンプ付軽積載車】		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第56号	工事請負契約の変更について 【松島町保健福祉センター大規模改修工事】		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第57号	令和6年度松島町一般会計補正予算(第3号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第58号	令和6年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第59号	令和6年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第60号	令和6年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第61号	令和6年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第62号	令和6年度松島町水道事業会計補正予算(第2号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第63号	令和5年度松島町一般会計歳入歳出決算認定について	9月19日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1	
議案第64号	令和5年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第65号	令和5年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第66号	令和5年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第67号	令和5年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第68号	令和5年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第69号	令和5年度松島町松島区外区有財産特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第70号	令和5年度松島町水道事業会計決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第71号	令和5年度松島町下水道事業会計決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0

## 令和6年第2回臨時会(8月5日)

議案番号	議 案 名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対	
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
議案第44号	和解及び損害賠償の額の決定について	8月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第45号	令和6年度松島町一般会計補正予算(第2号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13



よねかわ しゅうじ 議員  
米川修司

## 問 公用車の次世代自動車導入についてはどのような視点に立って推進していくのか

## 答 環境性能と財政負担の両方を見ながら国の政策に合わせて進めていく

**問** 町有資産を有効に活用する方法として、広報やウェブページに加え、公用車にも広告を掲載する考えはないか。

**町長** リース車両の債権者と協議が必要となること等を考慮し、他自治体の事例を踏まえながら適正に実施できるか調査する。

**問** 休日における松島駅からの二次交通の一つとして、町民や観光客が公用車を手軽に利用できるよう、今後はカーシェアリングの仕組みを取り入れる考えはないか。

**町長** 災害時の対応では曜日に関係なく公用車を使用しているが、公用車を一般に貸し出す際は料金の徴収方法や鍵の受渡し等、様々な面から検討する必要がある。



湯沢市公用車カーシェアリング実証事業 (湯沢市HPより)

**問** 松島町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を踏まえ、今後は公用車のリース契約等における環境性能に関する基準、車種選定の基本的な考え方及び選定の手続を定めることにより、各課と環境防災班が協働で取り組んでみてはどうか。

**総務課長** 環境防災班としては電動車を極力増やしたい思いがあり、各課から意見を求められれば助言できるが、予算が伴うものであるから財務課と一緒に取り組みたい。

**問** 今年度は県交付金を活用してPHEVを導入する予定であるが、このような取り組みを日本三景松島が町内外へ発信することはとても有意義であるので、今後は他自治体に先行して、公用車の次世代自動車導入を促進していく役割を担ってほしい。

**町長** 他県では次世代自動車PRを目的に、自治体が導入費用の一部を民間に補助する事例がある。もし松島を走ることがPRに繋がるのであれば環境省に働きかけてみたい。

## 問 町長は行政と議会の関係についてどのように考えているか

## 答 よりよいまちづくりを目指すべく、お互いの立場からよく議論して町政を進めていく

**問** 行政と議会は車の両輪の関係と言われるように、それぞれ職務の違いこそあれ、対等の立場で相互に行き過ぎを是正し、足らざるを補いながら町政を正しく運営していくものである。行政と議会がそれぞれの使命により町民の付託に答え、町民の利益を担保するため、今後は町の情報を適宜かつ適時に共有してもらいたい。

**町長** まちづくりにおいて重要となる施策や計画の策定については、その都度、全員協議会等で議会と協議しながら進めていきたい。



さくらい  
桜井ていこ 議員

## 問 町営バスの運行改善について

### 答 ダイヤ等の見直し案を作成する

**問** 町営バスの運行の改善を求める声が多い。必要な人に必要なものを提供する地域公共交通の再構築を要望している。路線の見直しや改善を予定しているのか。

**総務課長** 利用者や乗降場所を調査する乗降調査を今年度8月に行い、今後も数回程度調査・利用者アンケート調査を予定している。アンケート結果を元に受託業者の意見を聞きながらダイヤ等の見直し案を作成していく。

**問** 無料バスカードの多様性・個人情報面の表示が改善され、該当者にすでに配付されている。希望すれば、紛失した方も新カードに変更できることを周知してはどうか。

**総務課長** 旧式カードをお持ちの方で希望があれば、総務課窓口で交換できる。今後、町営バス内に掲示するなど周知方法について検討をする。



松島町営バス利用者無料カード

## 問 「ひきこもり」支援対策について

### 答 現状把握後の支援策を見据えて慎重に取り組む

**問** 仕事や学校に行かず家族以外の人しか交流しない「ひきこもり」の状態にある方が町内にもおられる。高齢の親が子のお世話をし、若者がそのまま中年になって親の支えで生活を続けている。親が80歳、子が50歳、親子ともに生活が困難になることが多く、8050問題と呼ばれ、早期に発見し、支援方法が検討されている。「ひきこもり」の実態把握・支援策が必要ではないか。

**町長** 8050問題については承知している。実態把握の在り方について慎重に検討して、支援策に取り組んでいく。

**問** 小中学校不登校生徒の卒業後も「ひきこもり」が続いているのか。

**教育長** 義務教育終了後は、把握していない。

**問** 住民にも「ひきこもり」の方が町内にいる事を知ってもらい、社会参加の取り組みをお願いしたい。また、「ひきこもり」は、障がい者の分類になるか。

**健康長寿課長** 「ひきこもり」は、診断名ではなくひきこもり状態にある表現である。当町において住民の「ひきこもり」の理解にはまだ至っていない。誰もが役場に相談できることを周知し、個別の相談から対外的な関係機関の意見ももらいながら、課をまたいだ支援ができるように考えていく。





小澤 陽子 議員

# 問 今後のごみ集積所の在り方について

## 答 制度の周知と利用について 今後検討していきたい

松島町は高齢化率が県内でもかなり高くこのまま高齢化が進むものと考えたと、ごみを出すことにも様々な問題が発生すると思うが、今後どのような対応が必要なのか伺う。

**問** ごみの集積所は町内何ヶ所か。そして、その集積所の現在の状況はどうか。

**総務課長** 集積所の数は200ヶ所。内訳は、ケージ設置が182ヶ所、ネットのみが17ヶ所、何も無いが1ヶ所である。

**問** これからの高齢化を考えた場合、集積所自体の在り方や考えは。

**総務課長** 集積所に集まったものを収集運搬することが町の責務として法律に定められている。日常的な清掃、管理は地域の方々にお願しているという状況である。当面変更は無い。

**問** 運営管理について、何か問題は無いのか。

**総務課長** ごみ集積所の新設や、移設について等年に何回か問い合わせがある。



**問** カラスなどに荒らされた集積所について苦情は来っていないのか。

**総務課長** 苦情としては1件あった。以前ネットを設置したが、歩行時に足が網に引っかかり問題になった。他の場所を借りる等、検討してみてもどうかという話をした経緯がある。原則は地域で決めることである。

**問** 環境美化推進員の活動内容と、高齢化に伴う行政の対応策は。

**総務課長** 各行政区2名ずつ現在24名、不法投棄の巡回パトロールや各地区の清掃活動時における連絡調整、ごみ集積時の管理、環境美化やごみの分別意識の向上などに協力してもらっている。

高齢化に対しては介護事業に家事支援事業があり利用可能であるが、認知不足もあると思う。制度理解のためわかりやすい周知をし、利用者を増やしていきたい。

**問** ごみ出しが困難な高齢者に対する支援は全国で始まっている。町ぐるみの対策を考えないのか。

**総務課長** 環境省の調査で事例があるのは承知している。使える制度をわかりやすく周知していきたい。





さく らい やすし  
櫻 井 靖 議員

## 問 5Gエリア拡大に向けての取組は

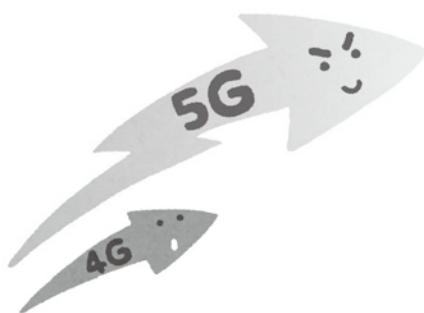
### 答 モバイル通信4事業者と意見交換をしていく

**問** 松島イノベーションヒルズの企業誘致を行う上で、その地域の5G整備は重要課題のひとつと考えるが町としてどう考えているのか。

**町長** 初原土地区画整理組合においても、企業誘致を行う上で通信環境を整備することは重要であると認識しており、5G整備に向けて通信事業者と協議を行っている。今後は現地における電波状況の調査結果や立地企業の使用する通信料等を踏まえて、町としても、国内のモバイル通信4事業者と機会を捉えて意見交換を行っていく。

**問** 観光地域での携帯電話のつながりにくさ解消や農業振興地域におけるスマート農法化、ドローン宅配や自動運転バスの実現など、全町、多岐にわたって5Gは町民の生活を豊かにすることができると考えるがどうか。

**町長** 5Gの通信技術については、本町においても有益な事項であると考えている。法規制の緩和等も含めてデジタル社会の実現に向けて、国の動向を注視し、町としてどのように関わっていくことができるのか今後検討していく。



## 問 子どもたちの交通安全教室の充実を

### 答 大人が手本を見せられるような社会になることを願っている

**問** 毎年、年度初めに各学校等では交通安全教室を行っている。しかし、子どもたち一人一人が日頃から交通安全の心がけができるような交通安全教室になるよう一層の努力が必要と感じているがどうか。

**教育次長** 交通安全教育は、児童生徒の命を守るために極めて重要であり、教育委員会としてもその意義を強く認識している。交通安全教室の内容等については、警察や交通指導隊等の関係機関の意見も踏まえながら、今後、実施していく。

**問** 自転車の運転時ヘルメットの着用が義務となつて一年が過ぎ、着用率も伸びている。しかし、せっかくヘルメットをしても、顎ひもをしつかりしていなければ意味がない。自転車通学をしている子どもたちに自転車の乗り方についての指導は行っているのか。

**教育長** 自転車通学をしている児童生徒のみならず全校児童生徒に対し、交通安全教室において自転車の正しい乗り方、自転車乗車時の正しいヘルメットの着用の仕方について指導を徹底しているところではあるが、引き続き、児童生徒に対し注意を促すよう指示していきたい。

また、学校だけの問題だけでなく、保護者などにも説明していきたい。大人がルールを守り、自ら手本を見せてもらえる社会になるように、私自身も願っている。





あきら  
の  
今野 議員

# 問 女川原発の再稼働は中止を

## 答 エネルギー政策は国が総合的に判断

**問** 能登半島地震は、地域の5つの活断層が連動するなど過小評価していたとの指摘がある。女川原発でも海域等活断層の再調査を行い、再稼働の是非を判断すべきではないか。

**町長** 女川原発の海域等活断層の再調査は、能登半島地震を踏まえた検証を行い地震、津波評価に影響を及ぼす喫緊の課題がないと確認された。また、原子力規制委員会の審査の結果、再稼働は新規制基準に適合し許可されている。

**問** 能登半島地震では、道路の寸断、放射線防護施設の損傷、家屋の倒壊や孤立地区などが発生。原子力災害が複合的に発生すれば屋内退避も困難になる。モニタリングポストが損傷したとき、住民に的確な避難指示を出すことはできるのか。

**町長** UPZ外の原子力災害時の非難は、国が行う放射性物質放出後のモニタリング結果を踏まえ、国の指示を受ける。このため本町では、情報伝達手段の多重化を図り、迅速に住民に伝達できる体制を構築している。

**問** 東北電力は、女川原発の使用済み核燃料乾式貯蔵施設の設置について、県と関係市町に事前協議を申し入れた。これは再稼働後4年程度で湿式貯蔵施設が満杯となるため、発電所敷地内に乾式貯蔵施設2棟を建設するものである。県や関係自治体から説明はあったのか。

**町長** 乾式貯蔵施設が完成すれば、女川原発の敷地内に溜まり続ける使用済み核燃料はどう処理されるのか。同じ施設が全国に建設されれば、日本列島は核のごみ捨場化するのではないか。

**危機管理監** 本町への説明は現時点ではない。

**危機管理監** 使用済み核燃料の貯蔵は一時的で、搬出実績のある国内外の再処理業者とする回答が、東北電力から宮城県が受けている。

**問** 地球温暖化対策に有効として、国は原発再稼働に大きく舵を切ったが、再生可能エネルギーに転換を図ることが大事ではないか。原子力は、今の人類の知見では制御できず危険である。女川原発再稼働についての町長の考えは。

**町長** 再生可能エネルギーへの転換は、地球温暖化対策に効果的であり、原子力発電も有効と認識しているが、エネルギー政策は国で総合的に判断されるべきと考える。





なかじまかずと 中島一都 議員

# 問 3期目を迎えて教育長に抱負を伺う

## 答 学力向上、いじめに対する教育、少子化に伴う学校の在り方 3つの項目を重点に取り組む

**問** 令和6年6月27日より、3期目となる松島町教育委員会教育長に再任され、今後3年間の教育行政を推進する上で、教育長の抱負は。

**教育長** 子どもたちを取り巻く環境は超スマート社会の到来に伴い複雑かつ多様化しており、学校は児童、生徒に対しこれまで以上にきめ細やかな対応が求められていると考える。

今後3年間で次の3点を重点に取り組む。  
①学力向上については、保護者の7割以上は学力向上を、児童生徒の8割以上は教員に分かりやすい授業を求めている。本町はこの期待にしっかりと応えたい。

②いじめについて、引き続き関係機関の協力を頂き、人を傷つけない、豊かな心を育む取り組みを充実させる。

③少子化に伴う学校の在り方について、現在第五小学校に小規模特認校制度の準備を進めているが任期3年の間で様々な検討を踏まえ方向性を示したい。

**問** 全国学力調査の結果を生かした指導内容とその効果は。

**教育長** 調査結果を小中学校の校長に示し、学習のあるべき姿を検討している。また、各学校で詳細を分析し、保護者に結果と改善策を公表する。本町は県内でも常に上位にあり適切な対応が図られていると感じる。

**問** 現在、不登校の児童生徒の状況は。また対応、対策は。

**教育長** 令和5年度は小学生が5名、中学生が21名で、無気力、不安、家庭環境、ゲームやSNS等が原因となっている。学校としても児童生徒に対し定期的にアンケートを実施し、実態の把握、早期に対応を取るよう努めている。

**問** 貸出にあたり利用団体へルールは周知されているか。

**教育課長** 貸出の際に利用団体へルールをお知らせし、チェック表をつけていただいているが、申請時間を超過しての活動や、備品が破損していたとの報告もあり、利用団体に注意喚起をしている。



**問** 学校体育施設の有効活用について、現在の小中学校校庭、体育館の利用状況は。

**教育課長** 本町では全ての体育館、校庭を学校教育や行事に支障のない範囲で開放し、現在15団体が利用している。





議員 二 隆 野 菅

# 問 松島を盛り上げるアイデアコンペの開催や町民との協働のための支援窓口設置の考えは

答 現時点では予定していないが今後の社会情勢の変化を見極めながら検討していく



**問** 町の高齢化率が40%へ上昇したことをどのよう  
に受け止めているのか。

**町長** 高齢化は今すぐには止められないと考えている。まずは元気な高齢者の方が多くなってほしい。健康寿命を延伸することによって医療費の抑

**問** 町の人口が40年弱で約4,500人減っている。今後、人口を増やしたいのか、できるだけ維持したいのか。町としての方向性は。

**町長** 現在の人口1万3,000人を維持する方向で地区計画をはじめとした様々な計画を立てながらまちづくりを進めている。

制をする。抑制したお金を子どもたちに回せる形を町が構築しないとけない。

**問** 人口減・高齢化で地域の担い手が全国的に不足している。町の現状と解消するための施策は。

**総務課長** 地域の役員などは社会環境の変化や負担が大きいというイメージもあり、積極的に手を上げてもらえない状況である。成人式でのチラシ配布や広報への掲載、手引きを策定するなどして地域活動に参加しやすい環境を作りたい。

**問** 担い手不足の解消には地域おこし協力隊の活用もひとつの手段だと思  
うが、検討はしているのか。

**副町長** 今までは検討していなかったが、検討をする段階に入ってきている。受け手の問題など多くの課題があるが、様々な場面の活用をその都度、内部で検討している。



**問** 町民の積極的な地域活動や行政サービス、まちづくりへの参加が今後の松島を盛り上げるためには重要となる。町として参加の敷居を下げるような町民を巻き込む努力が必要ではないか。

**町長** 直接町民と意見交換ができる場としてタウンミーティング等を開催している。これらが町民を巻き込むひとつの手法であると考えている。町民から行政に対するニーズや要望は大変貴重なものである。引き続き町民と意見交換をする場を持ちながらまちづくりに取り組む。

**問** 町民や庁舎全体の職員から松島を盛り上げるアイデアを募集するコンペの開催や課題解決のアイデアを持った町民に奔走して協働を進められるような支援窓口設置を検討してみたい。

**町長** アイデアコンペの開催も専門的窓口の設置も現時点では予定していないが、今後の社会情勢の変化を見極めながら検討していく。



# 一部事務組合議会報告

## 塩釜地区消防事務組合議会

令和6年第2回定例会

令和6年7月8日(月)

### 行政報告(管内)

①火災件数

26件(前年比4件減)

②救急出場件数

4,102件(前年比108件増)

※令和6年1月～5月末

③要介護認定審査判定数

審査回数41回、1,221件

④障害支援区分判定件数

審査回数5回、60件

⑤塩釜地区りふ斎場の利用実績

423件(前年比8件減)

※令和6年4月～5月末

### 議案の審査状況

財産の取得

(塩釜、多賀城両消防署に高規格救急自動車を更新整備)

賛成全員・可決

米川 修司議員  
片山 正弘議員

## 宮城東部衛生処理組合議会

令和6年第2回定例会

令和6年6月28日(金)

### 行政報告

令和5年度ごみ総搬入量

管内 4万4,568トン

(前年比2229トン減)

松島町 6,010トン

(前年比82トン増)

令和6年4月～5月末ごみ総搬入量

管内 7,741トン

(前年比147トン増)

松島町 991トン

(前年比0.3トン減)

焼却灰、排ガス中の放射性物質濃度及び埋立

地浸出水処理水、地下水放射性物質濃度、各施設敷地空間放射線量の測定結果は、いずれも目安や基準の範囲内。

赤間 幸夫議員  
高橋 幸彦議員

## 宮城県後期高齢者医療広域連合組合議会

令和6年第2回定例会

令和6年8月19日(月)

### 議案の審査状況

①宮城県後期高齢者医療広域連合第4次広域計画の変更について

賛成多数・可決

②令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計決算及び後期高齢者医療特別会計決算の認定について

賛成多数・認定

③令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算(第1号)

賛成全員・可決

④令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

賛成多数・可決

桜井 ていこ議員

## トピックス



令和6年第1回 一般会議

令和6年7月17日(水)、一般社団法人松島観光協会と一般会議を行いました。

志賀寧会長をはじめとする

協会幹部

と「松島の

観光について」を主題

に意見交換

を行いました

ました。

た。



## 沼津市議会会派 行政視察

令和6年7月4日(木)、

静岡県沼津市議会会派が行

政視察のため来町されまし

た。

「震災後の

観光復興に

ついて」を

題材に、産

業観光課か

らの説明と

意見交換を

行いました。





# 総務経済常任委員会 教育民生常任委員会

## 総務経済常任委員会

### 行政視察研修報告

**調査事件**  
体験交流による地域活性化について

**調査期日**  
令和6年7月3日～5日

**調査場所①**  
山梨県小菅村

**調査の目的**  
山梨県小菅村における関係人口の創出について

**調査の内容**

- ・ 総合情報サイト「こ、こすげえ」について
- ・ こすげ村人ポイントカードについて
- ・ 源流親子留学について
- ・ 分散型ホテル「NIP P ONIA 小菅 源流の村」について

**まとめ**

小菅村は1955年の2,200人だった人口が現在は620人となっている。その中で人口をバロメータにせず、住んで良かった村、住みたい村

**調査場所②**  
長野県塩尻市

**調査の目的**  
塩尻市の空き家対策の取り組みについて

**調査の内容**

- ・ 塩尻市における空き家の現状について
- ・ 空き家の調査方法について
- ・ 空き家の利活用について
- ・ 塩尻市空き家等ハンドブックについて
- ・ (株)しおじり街元気カンパニーについて

**まとめ**

交流人口を増やす取り組みとして、空き家の利活用は重要と考える。

本町においても、空き家が増加傾向にあると推測されるが、平成28年以来、空き家調査は実施されていらない。経費や労力がかかることはわかるが、空き家の現状調査を定期的に行い空き家の推移にすることが大切であると考え

る。本町として、行政で

## 常任委員会

きることには限界があり、本気で空き家対策、定住移住を考えるならばこういったきめ細やかなサービスができる第三セクター、NPO法人等の創設を後押しする施策を考えていかなければならない。空き家が利活用される

ことで、移住・定住、関係人口が増加し町の活性化につながっていくことと確信する。本町においても空き家調査、利活用を促す施策、空き家に対するワンストップ相談窓口の設置を検討していただきたい。

## 行政視察研修

### 総務経済常任委員会



### 教育民生常任委員会



# 教育民生常任委員会

## 所管事務調査報告書

### 調査事件 郷土愛を育む学校給食の ありかたについて

#### 調査の概要

学校給食は学校教育の一環として、児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善を図り、栄養バランスのとれた食事の提供により、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上に寄与する大きな目的によって実施されている。

これらを前提にして、学校給食において地産地消に取り組むことにより、児童生徒の郷土愛が育まれる効果が得られるという考えのもと、教育委員会の意見聴取、給食センターの見学、給食の実食、及び先進地の視察により調査を行った。

#### まとめ

わが町の給食は米飯が週3回で環境保全米を使用している。おかずは主菜、副菜、汁物を組み合

わせて同じ食材や味付けが重ならないよう工夫されている。

また、「地場産物活用週間」や世界各地の特色ある食材や料理に興味・感心を深めてもらうためさまざまなテーマを決め給食メニューを提供している。さらに郷土愛をはぐくむ食育を推進するため調査研修を行った。

学校給食を通して郷土愛を育むためにはその土地の食材を使用することが望ましい。先進自治体の事例を研修することで、本町でも取り組んでいただけるよう次のとおり提案するものである。

日本人の主食である米飯の回数が両視察先でも多く、近年アレルギー体質の子どもが増加傾向にある対策としても米飯給食の回数の増加が望ましい。また、四方を海に囲まれた我が国の食文化に魚介類や海藻は重要であるので、海産物をこれまでに以上に提供していきたい。

使用することは地域の経済活性化にも寄与するた

め、地元食材の購入費用の増額を要望する。地域の自然、文化、産業、生産、流通に携わる方々の努力について理解を深め感謝の気持ちが生まれるよう、食育をより充実していただきたい。

## 行政視察研修報告

### 調査期日

令和6年7月10日～12日

### 調査場所①

兵庫県宍粟市

### 調査の目的

・給食の地産地消を積極的な推進  
・給食センターに保冷庫を設置し地元野菜の長期保存の状況

### まとめ

手作りをモットーに地元生産者の協力のもと、心を込めて作る学校給食の取り組みを学び、地元生産者をバックアップする取り組みが徹底されており、地産地消推進事業として取り組まれ、市内産コシヒカリ・大豆・味噌、砂糖の代わりに使う甘酒も地元生産者から購入し、小麦粉、ぶどう・ブルーベリー・りんごなども市内産を使用している。さらに市内で狩猟により捕獲された鹿肉、飼養された宍粟牛、養殖された鮎・アマゴ・サーモンなど地産地消にこだわ

っている。ストックヤード(保冷庫)の活用や宍粟市・J・A・市内生産者間の協力的体制を築いている。

本町においても地産地消を推進するための手法として、地元食材費の一部を負担することも場合によっては、生産者を応援するために地産地消の仕組みを取り入れる必要性を感じた。

### 調査場所②

兵庫県香美町

### 調査の目的

・香美町における「日本一のふるさと給食」を目指す取り組みについて  
・地元産食材の使用による地産地消推進、供給体制  
・食物アレルギー対策  
・地域と連携したふるさと給食の食育指導プログラム

### まとめ

香美町の学校給食は、「日本一のふるさと給食」の実現を目指し地元産食材をふんだんに使用した

物へと変化していた。J・A漁協など、町内関係団体と、学校給食センターとが連携を図り食材の発掘や献立の検討などが協議され、様々な問題が洗い出された。

解決策として、平成25年度に「ふるさと給食推進委員会」を設置し、生産者と学校給食センターの橋渡し役となることにより、子どもたちは地元で生産および加工された新鮮で安心安全な食材を提供してくれる、生産者と触れ合うことにより食べ物への感謝の気持ちを持つようになった。

一方、生産者は育てた野菜を子どもたちが給食で食べる喜びを感じ、「生きがい」につながり、生産意欲が高まった。地元食材を積極的に使用することは地域の経済活性化にも寄与し、子どもたちは食の大切さ、健康的な食生活の基礎を築き、給食を通じて地域とのつながりが強化されるものと感じた。本町においても改めて仕組みづくりの必要性を感じた。



# 次回

## 第4回 定例会

# 12月5日(木)

# 開会予定

- ▶ 傍聴は役場庁舎1階の「町民の部屋」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

### 議会情報はここからどうぞ

まつしま議会だより  
バックナンバー

こちらから



松島町議会  
ホームページ

こちらから



### 記事の訂正について

「まつしま議会だより」第159号の3ページ目に記載しておりました(都)根廻・初原線道路整備事業の翌年度繰越額に誤りがありました。正しくは、2億3,969万円となります。お詫びするとともに訂正いたします。

### 広報広聴常任委員会広報分科会

- 会長 櫻井 靖
- 副会長 桜井ていこ
- 委員 菅野 隆二
- 委員 米川 修司
- 委員 中島 一都
- 委員 小澤 陽子
- 委員 高橋 利典

(櫻井 靖)

環境が変化し、自然を維持していくのが大変ではありますが、皆様とともに議会も行政も一緒になって美しい日本の風景を守っていきたくて美しい日本の風景をほおばりなからつらつらと考えております。

## 町民インタビュー

議会だより表紙に各地区の活動を紹介します。今回は松島町国際交流協会会長にインタビューしました。



松島町国際交流協会会長

いしだ けん  
石田 堅 さん

松島町国際交流協会の活動内容をお知らせ下さい。

松島町国際交流協会は、台湾の日月潭・埔里地区と相互交流を行っているほか、町民と外国人がふれあう場として、国際交流バーベキューや世界のワインのタペなどを行っています。

今回、国際交流バーベキューを行ってどうでしたか。

外国から松島に働きに来ている方たちに、松島での良い思い出のひとつになってもらえればという思いで行っています。皆さまに大変喜んでもらいました。

議会に対してのご要望やご意見をお聞かせください。

特別の行事ばかりでなく、普段から各種団体や地域の活動に顔を出してもらい、気軽に意見交換できるように努めていただきたいと思います。

## 編集後記

清少納言の「枕草子」の一節に「秋は夕暮れ」とあります。日本人なら誰しも同じ風景が浮かぶのではないのでしょうか。真っ赤に染まった夕焼け空にカラスがねぐらに帰るのか三、四羽。柿の木は多くの実をつけ、遠くからお寺の鐘の音が「ゴーン」と聞こえる。  
松島には、まだそういう風景が残っているし、これからも残していつてほしいと願っています。